

## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年5月21日

東

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) サワー ハイコー  
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月22日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	31,933	△8.1	1,401	△49.1	1,219	△54.2	871	△48.8
2019年12月期第1四半期	34,764	△8.0	2,750	△27.8	2,664	△37.6	1,703	△48.4

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △408百万円( -%) 2019年12月期第1四半期 2,291百万円(△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年12月期第1四半期	円 銭 9.07	円 銭 —
2019年12月期第1四半期	17.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年12月期第1四半期	百万円 107,448	百万円 44,661	% 40.5
2019年12月期	109,813	45,405	40.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 43,515百万円 2019年12月期 44,240百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	円 銭 —	円 銭 3.50	円 銭 —	円 銭 3.50	円 銭 7.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 2020年12月期の1株当たりの配当金については、当社グループの事業環境を鑑み、2020年2月13日に公表した1株当たりの年間配当予定額8円から未定へと変更しております。

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 2020年12月期の業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なため、未定としております。今後、合理的な算出が可能になり次第、あらためて速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期1Q	96,292,401株	2019年12月期	96,292,401株
2020年12月期1Q	165,046株	2019年12月期	164,996株
2020年12月期1Q	96,127,367株	2019年12月期1Q	96,086,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(業績の状況)

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年10月の消費増税の影響から消費に陰りが生じていたことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあって内需と生産活動の双方が低迷いたしました。世界経済においても、移動制限や都市封鎖などの影響から景気は危機的な状況に直面することとなりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は前年同期比でマイナスとなりました。アセアンにおいては、タイとマレーシアの生産が減少するなど自動車生産台数は前年同期比でマイナスとなりました。また、中国の自動車生産台数は、特に2月の生産が大きく落ち込んだことなどから前年同期比で大きく減少いたしました。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナの影響を主因として、海外子会社（アセアンと中国）は新規車種の立ち上げがあったタイを除いて3社が減収、4社とも減益となり、主力の国内では減収に加え、厚木新工場への移転に伴うコスト増などの影響もあって、売上高は31,933百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は1,401百万円(前年同期比49.1%減)、経常利益は1,219百万円(前年同期比54.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は871百万円(前年同期比48.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、新型コロナの影響を主因として、海外子会社（アセアンと中国）は新規車種の立ち上げがあったタイを除いて3社が減収、4社とも減益となり、主力の国内では減収に加え、厚木新工場への移転に伴うコスト増などの影響もあって、売上高は30,129百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は1,352百万円(前年同期比50.6%減)となりました。

#### ② 用品事業

用品事業におきましては、新型コロナの影響からアフターマーケットの売上が減少したことなどから売上高は1,921百万円(前年同期比2.9%減)となりましたが、一過性の収益計上などにより営業利益は41百万円(前年同期は営業利益0百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は107,448百万円となり、前連結会計年度末比で2,365百万円の減少となりました。主な要因は、有形固定資産が全体で1,569百万円増加したものの、現金及び預金が2,312百万円、受取手形及び売掛金が674百万円、投資有価証券が945百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は62,786百万円となり、前連結会計年度末比で1,621百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が717百万円、その他流動負債が1,283百万円それぞれ減少することなどにより、流動負債が全体で1,512百万円減少したことによるものであります。

純資産は44,661百万円となり、前連結会計年度末比で744百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が871百万円あるものの、株価の変動や為替の変動を主因として、包括利益が全体で1,260百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響が深刻化する中で、国内並びに海外（中国とアセアン）の自動車生産台数などの販売面、海外からの部品調達などサプライチェーンを含めた生産面の両面に関して、新型コロナウイルスの感染拡大の範囲、終息時期やその後の影響が不透明な現時点においては、業績予想の算定が非常に困難であります。

つきましては、2月13日に開示いたしました業績予想を未定へ変更させて頂き、予想が可能になった段階で改めて開示させて頂きます。

配当予想につきましては、従来からの基本方針である、(1)内部留保を活用した研究開発および設備投資により企業価値の向上を図ること、および、(2)株主の皆さまに対する利益還元への向上を図ってゆくこと、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要課題とすることは不変であります。業績予想が困難である関係から、未定へ変更させて頂きます。

(新型コロナウイルスへの対応状況について)

1. 従業員の安全の確保・感染拡大防止への取り組み

当社では、従業員の安全、健康を第一に考慮し、手洗い・咳エチケットの推奨など感染予防対策の徹底、日々の健康チェックによる感染者・感染疑いのある従業員の早期発見努力に加え、感染者の発生以降、可能な範囲での在宅勤務の徹底、会議の Web 化、車通勤の奨励などの対策を実施しております。

2. 工場の稼働状況

(1) 日本国内

主要な工場は、神奈川、群馬、大分の3県にあり、稼働を継続しております。受注の減少を受け、4月から休業日を設定するなどの顧客の稼働状況に応じた対応を実施しております。

(2) 海外

a. マレーシア

政府指示に基づく工場の停止期間がございましたが、5月中旬以降順次再開しております。

b. タイ

顧客の稼働状況にあわせた生産調整のための休業を実施しつつ、稼働を継続しております。

c. インドネシア

国民の移動制限、顧客の稼働状況にあわせた休業を実施しつつ、稼働を継続しております。

d. 中国

2月は政府指示に基づく工場の停止を実施しましたが、3月以降、需要回復に伴い稼働率を向上させ、現状は通常レベルの稼働を行っております。

3. 収支改善に向けた対応状況

売上高の減少に対応した経費の変動費化を図るべく、休業日の設定や残業回避による人件費の削減、補助金の確保、出張などの諸経費の削減、不急の経費や設備投資の延期など、収支改善策を強力に実施しております。

4. 財務の状況

売上高の低下に伴い営業キャッシュフローの減少はございますが、当社は、取引金融機関からのコミットメントラインを確保しており、また、親会社ヴァレオからの資金貸借も可能であることから、資金収支上の懸念はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,196	5,884
受取手形及び売掛金	20,118	19,444
電子記録債権	1,541	1,586
商品及び製品	4,878	4,739
仕掛品	647	705
原材料及び貯蔵品	3,795	3,812
その他	7,166	6,899
貸倒引当金	△89	△56
流動資産合計	46,255	43,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,351	12,904
機械装置及び運搬具（純額）	13,823	14,695
工具、器具及び備品（純額）	5,049	5,006
土地	3,398	3,362
リース資産（純額）	1,551	1,038
建設仮勘定	6,587	7,320
有形固定資産合計	42,760	44,329
無形固定資産		
のれん	135	88
その他	1,151	1,151
無形固定資産合計	1,287	1,239
投資その他の資産		
投資有価証券	5,042	4,097
長期貸付金	909	749
繰延税金資産	3,956	4,287
その他	9,609	9,736
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	19,510	18,863
固定資産合計	63,558	64,432
資産合計	109,813	107,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,549	28,832
短期借入金	1,012	1,109
1年内返済予定の長期借入金	1,129	1,129
リース債務	730	307
未払法人税等	1,080	667
未払費用	3,525	3,787
賞与引当金	1,004	1,961
役員賞与引当金	25	51
製品保証引当金	1,739	1,720
その他	6,023	4,740
流動負債合計	45,821	44,308
固定負債		
長期借入金	8,974	8,784
リース債務	490	727
繰延税金負債	182	121
退職給付に係る負債	8,718	8,645
資産除去債務	170	151
環境対策引当金	8	8
その他	40	37
固定負債合計	18,586	18,477
負債合計	64,407	62,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,986	8,986
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	34,267	34,803
自己株式	△45	△45
株主資本合計	45,713	46,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,899	1,239
為替換算調整勘定	△2,905	△3,536
退職給付に係る調整累計額	△467	△437
その他の包括利益累計額合計	△1,473	△2,734
非支配株主持分	1,165	1,146
純資産合計	45,405	44,661
負債純資産合計	109,813	107,448

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	34,764	31,933
売上原価	26,638	25,171
売上総利益	8,125	6,762
販売費及び一般管理費	5,375	5,361
営業利益	2,750	1,401
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	48	52
為替差益	22	—
その他	10	46
営業外収益合計	99	118
営業外費用		
支払利息	58	29
支払手数料	22	0
持分法による投資損失	79	134
為替差損	—	131
その他	24	3
営業外費用合計	186	300
経常利益	2,664	1,219
特別損失		
固定資産処分損	189	4
特別損失合計	189	4
税金等調整前四半期純利益	2,474	1,215
法人税等	746	335
四半期純利益	1,728	879
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,703	871



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,728	879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	△660
為替換算調整勘定	226	△507
退職給付に係る調整額	33	30
持分法適用会社に対する持分相当額	241	△150
その他の包括利益合計	563	△1,287
四半期包括利益	2,291	△408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,255	△389
非支配株主に係る四半期包括利益	36	△18

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結結果計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,765	1,678	34,443	320	34,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	300	301	142	444
計	32,766	1,978	34,745	462	35,208
セグメント利益	2,740	0	2,740	0	2,741

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,740
「その他」の区分の利益	0
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	2,750

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,128	1,552	31,680	252	31,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	369	370	281	651
計	30,129	1,921	32,051	534	32,585
セグメント利益又は損失 (△)	1,352	41	1,394	△7	1,387

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,394
「その他」の区分の損失(△)	△7
セグメント間取引消去	13
四半期連結損益計算書の営業利益	1,401

(重要な後発事象)

該当事項はありません。